

## 2021（令和3）年度8月委員会

- 配布資料
1. 2021（令和3）9月、10月予定表
  2. （会長）8月役員会記録（2021.8.24）
  3. （総務）
  4. （地交）センター祭および地域ふれあいアフタヌーンコンサート実施に関する情勢
  5. （事企）防災フォーラム関連資料
  6. （広報）わたしのおぎくぼ No. 353 10月11月号掲載予定記事
  - 7-1（事務局）令和4年度予算要求資料
  - 7-2（事務局）講座メール申込み関連資料
  - 8.
  - 9.

### 1. 報告

- 1-1. 会長：
- 1-2. 総務部：館外研修について 10月12日（火）11:30～13:00 そなエリア東京
- 1-3. 地域交流部：センター祭および地域ふれあいアフタヌーンコンサート実施に関する情勢、副部長の指名について
- 1-4. 事業企画部：防災フォーラム進捗状況
- 1-5. 広報部：わたしのおぎくぼ No. 353 10月11月号掲載予定記事
- 1-6. 道の愛称 p：
- 1-7. 荻窪の記憶 p：
- 1-8. こみゆに亭 p：
- 1-9. 事務局：令和4年度予算要求資料、講座メール申込み関連資料
- 1-10. その他：

### 2. 協議

- 2-1. （会長）部会の開催について
- 2-2. （総務）
- 2-3. （地交）
- 2-4. （事企）
- 2-5. （広報）
- 2-6.
- 2-7.
- 2-8.

### 3. 事務局から

### 4. その他

2021年9月予定

		午前	昼休み	午後
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
8	水			
9	木			
10	金			
11	土			<事業企画部>本田 じっくりと読む「おくのほそ道」 講師：林 誠司 13:30～15:30、第4.5集会室
12	日			
13	月	(休館日)		
14	火	部会10:00～ 第1・2集会室		
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			<事業企画部>本田 じっくりと読む「おくのほそ道」 講師：林 誠司 13:30～15:30、第4.5集会室
19	日			
20	祝	敬老の日 (館内整理日)		
21	火	部会10:00～ 第4・5集会室 ◎「区広報紙」11/15号原稿事務局へ切		<総務部>大矢 役員会 13:00～、打合せ室
22	水	◎「区広報紙」10/15号校正日		
23	祝	秋分の日		
24	金			
25	土			<事業企画部>本田 じっくりと読む「おくのほそ道」 講師：林 誠司 13:30～15:30、第4.5集会室
26	日			<事業企画部>恵羅 コロナ禍における発展途上国の現状 講師：林 薫 13:30～15:30、第1.2集会室
27	月	(休館日)		
28	火	部会10:00～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No. 353 10月11月号発行・配布		<総務部>大矢 委員会 13:00～、第1・2集会室
29	水			
30	木			
		午前	昼休み	午後

# 2021年10月予定

		午前	昼休み	午後
1	金			
2	土			
3	日			
4	月			
5	火	部会10:00～	第1・2集会室	
6	水			
7	木			<事業企画部>染谷 いきいき朗読教室 講師：岡 摂子 13:30～15:30、第4.5集会室
8	金			
9	土			
10	日			
11	月	(休館日)		
12	火	館外研修 (そなエリア)		
13	水			
14	木			<事業企画部>染谷 いきいき朗読教室 講師：岡 摂子 13:30～15:30、第4.5集会室
15	金			
16	土			<事業企画部>志穂 トルストイ「人はなんで生きるのか」 講師：杉山 春子 13:30～15:30、第1・2集会室
17	日			
18	月			
19	火	部会10:00～	第1・2集会室	<総務部>大矢 役員会 13:00～、打合せ室
		中間監査11:00～		
		◎「区広報紙」12/15号原稿事務局へ切		
20	水	(休館日)		
21	木	◎「区広報紙」11/15号校正日		<事業企画部>染谷 いきいき朗読教室 講師：岡 摂子 13:30～15:30、第4.5集会室
22	日	(館内整理日)		
23	土			<事業企画部>熊谷 多肉植物でつくるミニチュアガーデン 講師：吉野 華恵
24	日			
25	月	(休館日)		
26	火	部会10:00～	第1・2集会室	<総務部>大矢 委員会 13:00～、第1・2集会室
27	水			
28	木			<事業企画部>染谷 いきいき朗読教室 講師：岡 摂子 13:30～15:30、第4.5集会室
29	金			
30	土	センター祭前日準備		
31	日	センター祭		
		午前	昼休み	午後

# 2021（令和3）年度8月役員会記録

資料 2

文責（茂木）

日時：2021年8月24日（火）13時～14時55分

場所：打合せ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、惠羅副会長・事業企画部長、大矢総務部長、横尾広報部長、桑山会計監事；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木事務局員

- 資料
1. 2021（令和3）9月、10月予定表
  2. （地交）令和3年度センター祭りおよび地域ふれあいアフタヌーンコンサート実施に関する情勢
  3. （広報）「わたしのおぎくぼ」No.353 10月・11月の紙面構成
  4. （事務局）荻窪地域区民センター協議会（令和4年度予算要求資料）

## 1. 報告

- 1-1. 会長：なし
- 1-2. 総務部：なし
- 1-3. 地域交流部：
  - 1) センター祭および地域ふれあいアフタヌーンコンサート実施に関する情勢報告
  - 2) 地域交流部副部長に蔭山健次氏を指名の件
- 1-4. 事業企画部：
  - 1) 8月実施の講座開催状況、9月以降の予定について
  - 2) 「防災フォーラム」準備進捗状況
- 1-5. 広報部：
  - 1) 「わたしのおぎくぼ」次号353号の紙面構成とイベント講座案内欄で予定の確認。
  - 2) 新しい連載計画『近隣の高等学校訪問』、予定全校より取材の了解を受く。
- 1-6. 道の愛称 p
- 1-7. 荻窪の記憶 p：8月26日に菊野氏より荻窪来住などの経緯を聴く勉強会実施
- 1-8. こみゆに亭 p
- 1-9. 事務局：令和4年度予算要求に関する各部との調整と取りまとめ状況報告
- 1-10. その他：

## 2. 協議

- 2-1. 会長：部会の開催について
  - 1) 地交部からの問題提起
    - ① コロナ感染拡大のあるなかで、毎週火曜日の集合部会にはリスクがあるのではないか。また火曜日定期の活動に意味はあるのか。他地域センターでは定期開催としていないところもあると聞いている。
    - ② Zoom 利用による会議開催の可能性は

2) 他部の事情と定期活動形態に関する意見

- ① 定期活動日を設けているのは荻窪センターの経験を踏まえた慣行。日程集約のメリットがあり、分散開催は日程調整に負担。
- ② 事業企画、広報に関しては集合協議の意義は大きい。実際の準備等は他の曜日でも使用、自主的に活動している。
- ③ イベント・講座開催に関しては、状況に応じてリスク回避を基本に臨機応変に対処。
- ④ 現在の感染状況の実態からみて、部会の集合開催に特段大きなリスクはないのでは（判断の分かれるところであることは認識）

3) 役員会としての結論：

- ① 地交部内で議論があったことは尊重したい。
- ② Zoom 使用に関しては、協議会負担で加入しており利用は可能。地交部で試行することから始めてはどうか。

2-2. 総務部：

2-3. 地域交流部：

2-4. 事業企画部：

2-5. 広報部：

3. 事務局：メールによる申込形式に関し、進捗があったので委員会までに報告用意

4. その他：

## 地交部 令和3年度センター祭りおよび地域ふれあいアフタヌーン コンサート実施に関する情勢

### 1. コロナ

デルタ株蔓延にともなう①感染急拡大 ②医療体制ほぼ崩壊 ③子供への感染拡大などから、ワクチン接種拡大によりコロナは鎮静化が期待されていたが、状況はむしろ悪化の一途をたどっている。

### 2. センター祭りについて

(1)10/31の開催に向けて80%の準備を完了している。

今年の祭りは地交部年度計画にもとづき、子供にスポットを当て、親子での来場を期待する内容となっている。

例：1F 舞台：和太鼓 ソーラン節 子供バイオリン演奏 ハロウィン仮装 他  
2F 体験：プラネタリウム 似顔絵 発電体験 缶バッチ 模擬消火 他

(2)12歳以下はワクチン対象外、およびその親(30~40代)は大半が未接種で、接種完了時期も不透明である。

(3)出演、出展者への参加確認書の提出依頼

8月中旬に依頼状の発送を予定していたが、保留している。

コロナの状況から、辞退者が多く出ることも危惧している

(4)実施の可否 9月10日までに結論を出す。

### 3. コンサートについて(8/20)時点

(1)今年度荻窪音楽祭は 11/4(木)~7(日)で実施されるが、センターはこの間の11/6(土)実施で準備している

○実施:11/6(土) 13:30~15:00

○内容:①ピアノ&バイオリンコラボ(プロ)

②都立杉並高校 吹奏楽部

○実施条件:自主企画演奏会ガイドライン(コロナ下厳格な基準)に沿った実施が必要

(2)音楽祭事務局および自主企画事務局の情勢

ア、参加者:通常年(一昨年28会場)の約半分の応募(コロナ次第で減る?)

自主企画グループは通年(一昨年14会場)⇒4~5程度か

イ、実行委員会では強硬派と慎重派に分かれている 慎重派は動画配信も検討  
楽しい音楽祭にならない。

ウ、今後、9月上旬実行委員会で参加者の提出内容を検証することおよび今後の  
進め方を協議する

(3)センターでの音楽祭実施の可否の判断

早めの結論を出す (9月中旬まで)

以上

## 防災フォーラムについて

## 1 実施日、場所

令和3年12月5日(日) ※前日準備  
荻窪地域区民センター

## 2 予算

各協議会 18万円 計 36万円

## 3 今年度のテーマ

「知ろう！高めよう！町の防災力・私の防災力」

## 4 事業内容、規模等

(1) 基調講演：「災害ボランティアセンター立ち上げの意味と地域との連携」  
講師：杉並ボランティアセンター職員

## (2) 実施事業

## ① 防災体験

① 自宅避難での準備例の展示・説明

② 救援所体験として体育室を震災救援所に見立て、様々な具体的展示など

② 地域の町会・防災会・震災救援所の実情を調査。

③ ②を基礎とする対象地域の町会・防災会・震災救援所の情報交換会

④ 一般区民を対象とする事業

① 防災関連のパネル展示・画像放映。

② 防災クイズ

③ ライフラインの防災展示

## 6 スケジュール

9～11月 合同実行委員会

12月5日(日) 本番(於：荻窪地域区民センター)



広報紙

資料 6

2021  
10月・11月  
No.353  
9月28日発行

2020  
10月・11月  
No.347  
9月29日発行

# わたしの おぎくぼ

発行：萩産地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区萩産2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128  
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>  
萩産地域区民センター 杉並区萩産2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4  
本天沼区民会館所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

第43回

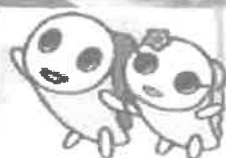
## おぎくぼセンター

# 祭

期 日：10月31日(日)

時 間：午前10時～午後4時

会 場：萩産地域区民センター



### 舞台

- ・和太鼓
- ・日本舞踊
- ・子ども落語
- ・バイオリン演奏
- ・ハロウィンタイム
- ・出前講座 他



### 体験・展示

- ・模擬消火体験
- ・プラネタリウム
- ・発電体験
- ・ハロウィンぬり絵
- ・健康コーナー  
(肌年齢・骨量測定)
- ・缶バッジ 他



### 模擬店・物販

- ・杉並産新鮮野菜
- ・クッキー・パウンドケーキ
- ・ポップコーン・わた菓子
- ・ソフトドリンク
- ・パン 他

※買い物用の袋を持参ください

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、記載内容が変更になる可能性があります。変更する場合はホームページ等でお知らせします。



### お願い

- ★検温 ★手指の消毒 ★マスク着用 ★3密の回避
- ★お名前、連絡先の記入をお願いする場合があります

### これからのスケジュール

10月

- 7日(日) 14日(日) 21日(日) 28日(日) いきいき園講教室
- 16日(土) 「トルストイの民話」
- 「人はなんで生きるか」を語るかを語らなひませんか」
- 23日(土) 「多肉植物でつくろいミニエデュガールズ」
- 31日(日) 「おぎくぼセンター祭」

11月

- 6日(土) 萩産音楽祭(地域なれあいコンサート)
- 7日(日) 災害情報で命を守る
- 27日(土) 萩産健康センターと共同開催  
「萩産健康サロン」(萩産地域区民センター)
- 28日(日) 秋を美しく木の実工作教室

12月

- 30日(土) 広報紙「わたしのおぎくぼ」  
No.354 12月1日号発行
- 3日(日) 10日(日) 17日(日)
- 「青春を覚えよう！ 藤巻スツキリ体操」
- 5日(土) 「防災ウォークラム」
- 11日(土) 1月30日(日) 郷土博物館分館展示  
「萩産の記憶」(清水・林井・今川の歴史)
- 12日(日) 「萩産密蔵」(金原亭 麗玉・翁家 和助)

令和4年1月・2月

- 1月22日(土) 新春講演  
「天才手塚治虫との対話から」
- 1月25日(日) 広報紙「わたしのおぎくぼ」  
No.355 2月3日号発行
- 1月29日(土) 30日(日) 「アート展」
- 2月5日(土) 「地域懇談会」
- 2月27日(日) 本天沼集会所まつり

※イベント、講座等は変更になる場合があります。お申し込みが明記されていないものは全て、会場は萩産地域区民センターです。  
※問い合わせ先 ●運営企画部 ●地域交流部  
●広報部 ●事務局





## 心身ともにたくましい子どもを目指す 杉並区立桃井第二小学校



このシリーズの第9回は、桃井第二小学校の裕寛校長先生からお話を伺いました。

### ★概要

桃井第二小学校は、昭和3年4月、桃井第一尋常小学校より分かれ、「東京府豊多摩郡井荻町立桃井第二尋常小学校」として開校しました。平成30年4月には開校90周年を迎え、31年3月に新校舎が完成、令和元年12月には90周年記念式典が行われました。通常学級19、特別支援学級4、児童数572名（令和3年5月現在）です。昭和11年に制定された校歌は与謝野晶子作詞、山本直忠作曲で、杉並区指定文化財に認定されています。

### ★桃井第2小の特色

「心身ともにたくましい子ども」を目指し、3つの教育目標を掲げています。一つ目は「進んで学ぶ子ども」で、学習だけではなく委員会活動やクラブ活動、それに6年生がリーダーとなって1年生から6年生まで全員が参加し進んで学ぶ「縦割り班活動」があります。

二つ目は「仲良く助け合う子ども」です。これには縦割り班活動も効果があり、高学年が助け合いの手本となり、それを見た低学年が自分もいい高学年になろうと刺激を受けているそうです。

三つ目の目標は「進んで体をきたえる子ども」。地域の方々、火曜と木曜の週2回、子供たちが授業のはじまる前に校庭で野球やサッカー、鬼ごっこをして自由に遊ぶのを見守る「朝にわ」というユニークな活動もあります。

「ひまわり学級」と呼ばれる特別支援学級は杉並区内に10校あり、桃二小はその一つです。ひまわり学級の児童は、教科によっては普通学級の授業に加わったり、区別なく遊んだりする様子も見ることができます。



楽しい外遊び



ゲストティーチャーによる本の読み聞かせ

### ★デジタル授業の先進校

杉並区では児童全員にタブレットが配布されましたが、桃二小では校舎の改築に伴い、全教室に「シンクボード」という大きなディスプレイが設置されました。タブレットとシンクボードを連携させ、児童がタブレットに打ち込んだ意見をシンクボードにすりと並べ、それをもとに話し合いをする新しい試みも可能となりました。

火曜と木曜に授業のはじまる前15分間の「朝学習」で、今年から3年生以上はタブレットを使った漢字の勉強や算数の計算などの基礎学習を進めています。5、6年生はタブレットで資料を作り、写真をインターネットから取り入れながら自分の考えを書き、それをシンクボードに映し出して意見交換しています。

桃二小では、デジタルだけでなく、改装で図書室が新しくなったこともあり児童が本を手に取り読むことにも力を入れています。読んだ本を紹介し合う「ビブリオバトル」で、本を読むのはあまり好きではない児童も面白い発表をしてチャンピオンに選ばれ大いに喜ぶケースもあり、新しい試みが成果を上げています。

### ★裕校長の思い

裕寛（はざま・ひろし）校長は、和田小学校長を勤めた後、平成30年4月に桃二小に赴任。ちょうどその時期、校舎は改築工事中で、1年後に新校舎が完成しました。赴任して一番驚いたのは授業のデジタル



各学級で作った「あいさつ標語」のリポートによる発表

化で、「私の時代は考えられなかった」そうです。一方、地域の方々、「朝にわ」などで子供たちを見守り、育てる取組を積極的に行っている「温かい地域」との印象を抱いておられます。

### ■杉並区立桃井第二小学校

住所：167-0051 東京都杉並区荻窪5-10-25

電話：03-3392-6728

ホームページ：http://www.suginami-

### 開催案内

## 「荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター」

荻窪保健センターと共催で「健康まつり」を開催します。内容は①初心者のための太極拳教室（午後1時30分～3時）②アンデス音楽の演奏会（午後1時50分～2時50分）③落語家・立川抜志の落語会（午後1時20分～1時50分）です。

日時 11月27日（土）午後1時～3時30分

場所 荻窪地域区民センター第1集会室など

定員 各25名 参加費 無料

申込締切 11月7日（日）往復はがき、メール申込とも

※コロナ感染予防対策ため事前申込制とします。上記プログラムの番号（①・②・③）のいずれか1つを選び、往復はがき、または、メールにてお申込みください。

※はがきでの申し込みは次頁下段記載の【はがきでの申込方法】でお願いします。

※メールでの申し込みは当協議会HP（<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>）の当イベントのページにアクセスし、記載するメールアドレスに申し込んでください。



アンデス音楽の演奏会

「荻窪の記憶」  
こぼればなし

気になる木

木について書いてみたいと思います。筆者は、よく自転車に乗って街を走り回っていますが、もっぱら気になるのは樹木です。貴重な緑を都会にもたらす樹木に、つい目がいくのでしょうか。

いま、気がついたのですが、木は生きものですから、それは都会で暮らす木と呼ぶべきかもしれません。人生には運不運がつきものですが、都会で暮らす木の生涯にも運不運がつきまといます。自分の意志で動くことのできない木は、どこに植えられ、いつ、どんな理由で伐られるか、その運命は常に人間の手に握られています。そんな生命の儚さも、都会で暮らす木が気にかかる理由の一つかもしれません。「あなたは公園に住んでいるからいいけれど、最近、なんだか測量してるでしょ。今年こそ、わたし、伐られるような気がして心配なの」。木々が交わす、そんな会話が聞こえるような気がすることもあります。木が話をするなんてということかもしれませんが、ドイツの元森林官によれば、木は地下にめぐらせた根を通して互いに情報を交換しているのだといっています。

ままならない運命の一方、樹木は人間の生命のスケールを遥かに超えて樹齢千年を数えることも珍しくありません。人間が木に惹かれるのは、さまざまな時の流れを木が教えてくれるからかもしれません。私たちは、新緑や紅葉によって季節の移ろいを知り、木の葉のそよぎによって風を知ります。「風立ちぬ、いざいきめやも」。ナチの強制収容所の窓から、日々、芽を膨らませる一本の木を見ることで、希望を失わず、生還したユダヤ人女性の話を讀んだことがあります。北

インドの村では、まるで森のようなパニヤンの大樹を何十人の女性の手をつないで囲み、道路建設のための伐採から守ったといっています。

こうした人間と樹木の親密な関係はどうして生まれのでしょうか。かつて、人間の遠い祖先である初期の霊長類は、現在のメガネザルほどの大きさで、敵から身を守り、食べ物も豊富な樹上で一生を過ごしたといっています。やがて、人類は地上に降り、アフリカから世界各地へと広がっていくのですが、母の胎内のような樹木への郷愁は人類に深く刷り込まれたのではないのでしょうか。

ところで、あなたには、気になる木がありますか。多くの人にとって、それは大樹ではないでしょうか。間近で見上げる大樹もいいのですが、家並みを見下ろすように立つ姿は都会の大樹ならではの姿です。

下の写真は、「トトロの木」と呼ばれる西荻北のケヤキ。この木には、マンション建設のために伐採されそうになったものの、住民の署名運動によって救われたという過去があります。



「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

開催案内



地域ふれあいアフタヌーンコンサート

荻窪音楽祭の一環として「地域ふれあいアフタヌーンコンサート」を開催します！

日時:11月6日(土)午後1時30分~3時(1時開場) 入場無料:定員40名

会場:荻窪地域区民センター1F ロビー 申込締切:〇月〇日(曜)

- 午後1時30分~2時15分  
ピアノ・バイオリンコラボ演奏 江口純子&吉久亜紀
- 午後2時20分~3時  
都立杉並高校 吹奏学部

※状況に応じて開催変更になる場合があります  
※参加申込は下記【はがきでの申込方法】でお願いします



吉久亜紀



江口純子

開催案内

荻窪寄席

12月12日(日)

聴覚障害のある方にも楽しんでいただける字幕付きの落語と太神楽曲芸で、毎年好評をいただいている当センター協議会恒例の催しです。  
今年はコロナ感染症対策から、ご来場人数を少なくさせていただきます。

★演目:金原亭馬玉(落語) 〃 〃  
翁屋和助(太神楽曲芸)

★日時:12月13日(日)午後2時~4時 ★定員:30名

★場所:荻窪地域区民センター 第1・2集会室

★申込締切:〇月〇日(曜)



金原亭馬玉



翁屋和助

※参加申込は下記【はがきでの申込方法】でお願いします

【はがきでの申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ 〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

## 講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
トルストイの民話 『人はなんで生きるか』 を読んでみませんか	心温まる名作を読み解き、魅力を探ります。 講師: 杉山香子(明治大学文学部講師)	10月16日(土) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	10月5日(火)
多肉植物でつくる ミニチュアガーデン	多肉植物でつくるミニチュアガーデン風寄せ植えの作成、その他水やり、増やし方など長く楽しめるポイントもレクチャーします。 講師: 吉野華恵(グリーンアドバイザー)	10月23日(土) 午後1時30分～3時	12名	2,000円 (材料費込み)	10月10日(日)
災害情報で命を守る	災害時にはいろいろな情報が発表されます。最近の災害現場を見てきた経験を共有しながら、命を守る災害情報の活かし方を考えていきたいと思います。 講師: 田中淳(東京大学大学院情報学環 特任教授)	11月7日(日) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	10月24日(日)
秋を楽しむ 木の実工作教室	秋の木の葉・木の実・木の枝 蔭などを使って、工夫してリース・ブローチ・ドア飾りなどいろいろなものをつくりまします。 講師: 山室京子(環境カウンセラー)	11月28日(日) 午後1時～3時	12名	200円	11月7日(日)
背骨を整えよう! 腰痛スッキリ体操	腰や肩の痛みを取り除くために、ご自分で安全に楽しくできる体操です。 講師: 高橋晃史(背骨コンディショニング協会講師)	12月3日・10日・17日 各土曜日 3回 午前9時30分～11時30分	20名	200円	11月14日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに①(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ  
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

## 開催案内

## 第13回防災フォーラム2021

「知ろう! 高めよう! 町の防災力・私の防災力」

12月5日(日)午前10時～午後3時

会場: 荻窪地域区民センター

直接会場へお越しください

参加費  
無料

## ●プログラム

- ①基調講演会(10:30～11:30)  
テーマ:「防災ボランティアセンター立ち上げの意味」  
講師: 杉並ボランティアセンター 坂西千笑氏
- ②防災体験会 SSV ボランティアの会、栄養と食の会
- ③町会・防災・地震救援所情報交換会
- ④町会・防災会地震救援所展示・マニュアル等

①講演会、③情報交換会の参加は事前申し込みが必要です。お問い合わせは荻窪地域区民センター協議会(03-3398-9127)、または、当協議会ホームページ(<http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)でご確認ください。

『近隣の高等学校訪問』の  
連載をはじめます

本紙に連載していました『地域の小中学校紹介』は、本号P2掲載の第9回「桃井第二小学校」をもって無事終了しました。新型コロナウイルス感染症対策で大変な時期にもかかわらず取材にご協力頂きました各校の校長先生以下学校職員の方々に御礼申し上げます。次号からは『近隣の高等学校訪問』を下記の要領で連続8回掲載する予定です。ご期待ください。

学校名	号数	掲載時期
中央大学杉並高等学校	No.354	2021年12月・22年1月号
日本大学第二高等学校	No.355	2022年2月・3月号
文化学園大学杉並高等学校	No.356	〃 4月・5月号
東京都立荻窪高等学校	No.357	〃 6月・7月号
東京都立杉並高等学校	No.358	〃 8月・9月号
東京都立豊多摩高等学校	No.359	〃 10月・11月号
東京都立西高等学校	No.360	2022年12月・23年1月号
東京都立農芸高等学校	No.361	2023年2月・3月号

## 郷土博物館本館/分館

問い合わせ: 3317-0841 / 5347-9801

令和3年度「棟方志功サミット in 杉並」記念特別展  
棟方志功と杉並—「荻窪の家」と「本の仕事」—

会期: 令和3年10月30日(土)～12月5日(日)

## 棟方志功(1903-1975)

青森出身。大正15年から昭和2年まで阿佐ヶ谷、昭和26年から亡くなる昭和50年まで荻窪に暮らす。この杉並の地で「世界のムナカタ」としての国際的な名声を確立した。

## 本館特別展示室

荻窪の家の俯瞰図や、棟方が壁に観音像を描いたトイレの実物大再現、また代表作の板画「柳緑花紅頰」や棟方の装幀による書籍などを展示します。

## 分館西棟

1階では写真家・原田忠茂氏が撮影した昭和30年前後の棟方のアトリエを紹介する写真などを展示します。2階では杉並ゆかりの人々が所蔵した棟方作品や、棟方を支援した人々の作品などを展示します。

## ★郷土博物館本館

杉並区大宮1-20-8 TEL: 3317-0841

観覧料: 100円(中学生以下、障害者手帳を提示する方およびその付き添いの方は無料)、20名以上の団体は1人80円

## ★郷土博物館分館

杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内 TEL: 5347-9801

観覧料: 無料

## ★両館共通

開館時間: 午前9時～午後5時

休館日: 毎週月曜日、第3木曜日(祝日の場合は開催し翌日休館)

\*【地域からのお知らせ】のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号: 3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

10月26日(火)  
11月30日(火)委員会の  
日程

6月29日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会所

7月27日(水) 午後1時～ 会場: 第1・2集会所

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

## 荻窪地域区民センター協議会(令和4年度予算要求)

## 事業費

(単位:円)

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
集団事業費	1,284,954	1,380,000	1,330,000	960,000	
学級講座費	612,284	486,000	486,000	506,000	
協働事業費	750,000	1,072,500	863,000	1,023,000	
広報活動費	1,298,248	1,375,000	1,267,000	1,453,000	
懇談会費	86,081	90,000	90,000	130,000	
その他事業費	61,514	105,000	70,000	60,000	
事務費	151,752	372,000	416,000	456,000	
保険料	56,204	63,000	63,000	63,000	
計	4,301,037	4,943,500	4,585,000	4,651,000	

## 委員活動費

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
委員の活動に係る費用	3,621,000	3,856,500	3,924,000	3,924,000	
計	3,621,000	3,856,500	3,924,000	3,924,000	

## 委員研修費

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
委員研修に係る費用	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	

## 事務局運営費

項目	令和元年度 (決算額)	令和2年度 (決算額)	令和3年度 (予算額)	令和4年度 (要求額)	備考
事務局運営に係る費用、協議会全体に係る費用等	292,000	200,000	250,000	250,000	
計	292,000	200,000	250,000	250,000	

	(A)	(B)	(B)-(A)
補助金合計	8,214,037	9,000,000	8,759,000
		8,825,000	66,000

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業が中止となり、結果として、補助金支出額(決算額)が例年より低額となった。

令和3年8月31日

## メールによる講座申し込みについて

### 1 講座申し込みに関する当協議会の現状

これまでは、参加定数が決まっているなど、出席管理が必要な講座などについては、往復はがきにより対応してきました。今後は、これに加えて、協議会のホームページの講座案内に引き続いてインターネット・サービスを利用して申し込めるシステムの導入について調査、検討を進めてまいりました。

### 2 他の協議会の現状

井草地域区民センター協議会、西荻地域区民センター協議会、阿佐ヶ谷地域区民センター協議会では、既に導入し、稼働しています。高円寺地域区民センター協議会におきましても、導入作業を進めているところです。

### 3 導入予定のシステムを用いた操作

- (1) 応募者は、HP上の「〇〇講座申し込みフォーム」に必要事項を入力する。
- (2) 応募者は、「〇〇講座の申込」をクリックする。
- (3) 応募者のデータが、協議会HPに届く。
- (4) 協議会HPは、応募者に「〇〇講座の申し込みを受け付けました」との連絡をメールで送信する。  
協議会HPより協議会に応募がありましたとのメールが届く。  
協議会は、Wordpressにおいて講座ごとの応募者の申込リストを作成する。  
協議会は、講座受講の可否を決定する。  
協議会は、応募者にメールで受講の可否などを連絡する。
- (5) 応募者は、協議会からのメール内容を確認する。
  - 受講を辞退する当選者は、電話ないしメールにより協議会に連絡する。
  - 講座を中止する場合には、電話ないしメールにより当選者に連絡する。